

今回は実際に訪問診療を行なっている、鈴木内科循環器クリニック院長の鈴木真一郎先生を講師

# 美唄

BIBAI

平成29年度美唄歯科医師会障がい者歯科医療連携推進事業講演会開催  
日時：平成29年10月18日(水) 午後6時30分より

# 旭川

ASAHIKAWA

旭川歯科医師会役員防災研修会  
日時：平成29年10月15日(日) 午前10時より  
場所：旭川歯科医師会館

旭川歯科医師会役員を対象とした防災研修会を開催した。

講師に、防災士の及川太美夫氏をお迎えし、「歯科医師会における災害対策を考える」～起こり得る災害からその対応に向けて～をテーマに、講演会およびワークショップ形式の研修を行なった。

今回は、第一に旭川で起こり得る災害を知り、

# 空知

SORACHI

障がい者歯科関連講習会  
日時：平成29年10月28日(土) 午後3時より

# 留萌

RUMOI

場所：美唄ホテルスエヒロ  
標記講演会が開催され、講師は北海道空知総合振興局保健環境部保健行政室の新里勝宏 医療参事をお願いした。内容は、データから見る歯科保健医療と地域における在宅歯科医療の方向性—8020歯つばいプランの評価も交えて—という題で行われた。  
日北、北海道の人口の推移から始まり、3歳児・

その時にどのような対応や行動を必要とするか、現時点における課題の抽出とその対策を考えること、第二に歯科医師会役員の求める災害対策本部体制の共有化を目指すとともに、防災意識の高揚を図ることを目的とした。前半はスライドで研修、後半はビブスを着用して図上研修を行い、旭川ならではの考え得る災害を参加者全員で挙げてみた。海のない地域であることから津波・高波は出せなかったが、他国のミサイル攻撃による災害やテロによる災害など、少し前までは日本では考えられなかったことも挙げられた。  
災害想定シナリオは、日曜日の早朝、台風の影響で市内河川の堤防が一部決壊。一部地域に避難指示が発令。対象地域住民約750名が複数の指定避難所に避難しているが、さらに増える状況。市の

場所：滝川ホテル 三浦華園  
講師：札幌麻生脳神経外科病院  
言語聴覚士 源間隆雄 先生  
「医科歯科連携・多職種連携に向けて」—言語聴覚士の食支援と口腔アプローチと題して、講演していただいた。  
言語聴覚士が行う口腔ケアと口腔リハビリを臨

お口と歯の健康キャンペーン  
日時：平成29年11月3日(金・祝)  
午前10時から午後1時  
場所：留萌振興局 1Fホール  
標記イベントを開催し、無料歯科健診、無料フッ

を対象に行われ、看護師や社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパーの方など210名が参加された。

12歳児むし歯有病率の年次推移、また、北海道の現状と全国平均との違い、80歳で自分の歯が20本以上ある人の割合(8020)、歯科訪問診療・在宅医療連携室整備事業についても教示いただいた。  
また、北海道が行なっ



災害対策本部の巡回医療チームから旭川歯科医師会に医療救護活動の応援要請が入り、旭川歯科医師会でも災害対策本部を設置した。市内全域で断水、中小河川も氾濫し、至る所で道路が冠水している。このようなシナリオで図上訓練を行なった。本部チームと救護活動チームに分かれて、さまざまな状況を想定して何を持っていくか、どのようなルートを通るか、チーム編成はどうか、二次災害はないか、何を優先するべきかなど実践に即した状態で研修を行なった。常備すべき必要最小限度のものがある程度わかったものの、課題はたくさんあり、今後検討される事項の一部ではあるが抽出できた研修会だった。  
郡市区レベルではまず行われぬ災害訓練や研修。日歯・道歯による「災害時のマニュアル」はあ

床でどのように行なっているか、困難症例を通じて、栄養療法の観点から教えていただき、摂食嚥下障害のスクリーニング検査(反復唾飲みテスト・改訂水飲みテスト・食物テスト)舌や口唇のストレッチなどの実習を行なった。  
医科歯科連携・多職種連携に向けて、参加していただいた行政・病院・施設の方々も満足してい



ている歯科保健医療推進計画の概要から今後の方向性についても講演され、大変わかりやすく説明していただいた。この中では、平成17年の歯科疾患実態調査で8020達成者が初めて20%を超えたが、28年には51.2%であったということには驚いた。  
講演終了後には、少人数ではあったが、和やかな懇親会が行われ、盛り上がった。(川上謙治 記)

るものの、その土地・地域に合ったものが何なのか、地元の郡市区歯会が把握していなければならないと誰しもが思っていることである。私も当初は「マニュアル作り」に躍りになっていたが、結局壁にぶつかった。そこで、実動して問題点などを抽出しつつマニュアルを作成・修正していく方向に変えていく。そして、歯科医師だけでなく、防災に長けている地元の防災士を巻き込み、災害に対する研修を積み重ねることによって知識を深め、共有し、自分たちのものにしていくことが必要であると感じた。  
郡市区の関係者の皆さまにはぜひ参考にしていただきたいと思う。(森田琢博 記)

ただけた、大変有意義な講習会となった。(伊藤公博 記)



当日の天候は雨で気温も低く、来場者の減少が予想されたが、100名程、足を運んでいただいた。来場者は、各コーナーで熱心に担当者の説明を聴いていて、充実したイベントになった。(江畑育太郎 記)